



防災ニュース

静岡県西部地域防災局

第22号 平成19年12月28日

防災ニュースに関するお問い合わせ・メール配信希望は
〒438-0086 静岡県磐田市見付3599-4
TEL 0538-37-2209 / FAX 0538-37-3678
E-Mail seibou@pref.shizuoka.lg.jp

避難所運営ゲーム 「HUG」を開発!

大規模災害が発生した場合、数多くの被災者が避難所に集まり避難生活を送ることが予想されます。

避難所の組織づくり、空間配置、災害時要援護者への対応など、避難所の運営については「避難所運営マニュアル」が作成されていますが、より一層理解を深めていただくため、西部地域防災局では避難所運営を模擬体験できる教材として、避難所運営ゲーム「HUG(ハグ)」を開発しました。

現在、県及び市町防災関係職員や自主防災会を対象に試験運用を行っており、楽しく学べる教材として改良を行っています。

避難所運営ゲーム「HUG」の進め方 ～ 短時間に殺到する避難者をどのように誘導・配置するか!～

1. HUGの目的

ゲームは、とある町の避難所(小学校)が舞台となります。

プレイヤーは避難所運営担当者となって、避難所に指定されている体育館のほか、校舎や校庭など、学校の敷地を有効活用しながら、数多くの避難者を適切に配置できるか模擬体験します。

2. ゲームの内容

進行役 1名、プレイヤー3~4名とし、進行役が避難者の情報が記載されたカードを順番に読み上げながら、プレイヤーに渡します。

プレイヤーは、体育館や教室など避難者が生活するスペースに見立てた用紙に、避難者カードを並べていきます。

※ 避難者カード1枚の大きさを1人分の避難生活空間(約3㎡)と仮定し、この縮尺に見合うような避難施設の大きさの紙を用意してあります。

3. ゲームのポイント

避難者カードには、情報として避難者が抱える様々な事情が書かれており、プレイヤーには避難者の事情に応じて適切に配置することが求められます。

より実際に近づくため、進行役は短時間で次々と避難者カードを読み上げ、プレイヤーに余裕を与えないようにします。

避難者カード以外にも、避難所で想定される出来事が書かれたイベントカードが混ぜられており、プレイヤーは避難者の配置以外にも、避難所運営のための課題を処理しなければなりません。

ゲーム終了後に、避難者の配置方法やイベントの対処方法などについて話し合いを行い、より良い避難所運営のあり方を検討します。



作戦会議



避難者カードと避難施設用紙



次々とやってくる避難者を配置

避難所運営ゲームHUG

避難者の年齢、性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。



頭文字をとってHUG(ハグ)と命名!

H:hinanzyo 避難所
U:unei 運営
G:game ゲーム

意味は「抱きしめる」



避難者が続々とやってきます



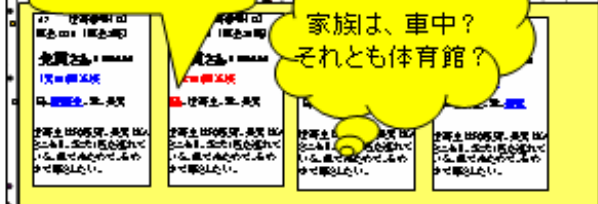
東池3班の免震さん4人家族 半壊

世帯主60歳、88歳の母、妻58歳、長男30歳

世帯主は糖尿病、長男はひきこもり。柴犬1匹を連れてくる。車で来たので、その中で暮らしたい

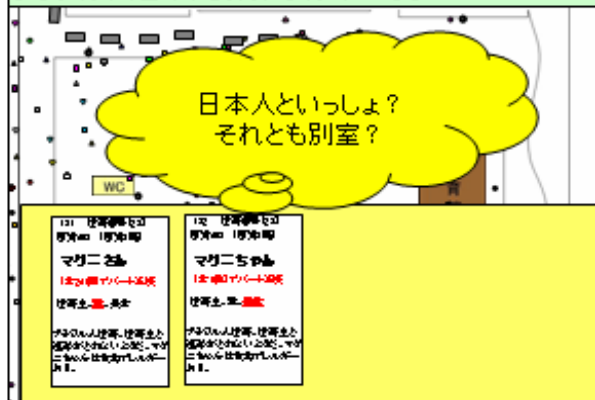
犬はブランコに?

家族は、車中?
それとも体育館?

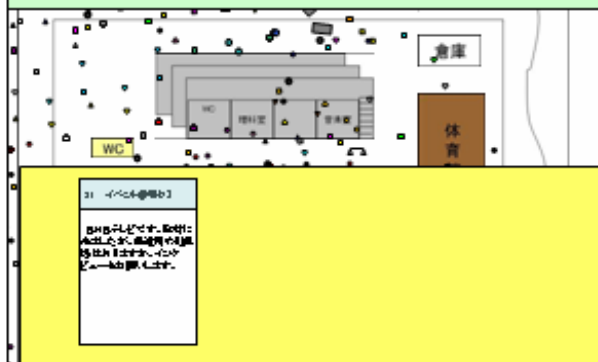


ブラジル人世帯、食物アレルギーあり

日本人といっしょ?
それとも別室?



BHBテレビです。取材に来ましたが、報道用の駐車場はありますか。インタビューをお願いします。



世帯主は認知症、交換用のおむつがほしい。

教室に入ってもう?
おむつは?



炊き出し場を決めておいてください

トイレが山盛りになってるぞ!

明日、総理大臣が見舞に来ます。

製品化

県内、
全国に
普及

